ヨシナカ新聞

１１月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:0729-77-8861
FAX:0729-76-0634

季節を教えてくれる花

先日、散歩していたら道端に小さな花がいくつか咲いていたので写真を撮りました。多分コスモスだと思うんですけど（間違っていたらどうしよう）、一面に咲いているコスモスだと、『あっ、コスモスだ。綺麗だなあ』ってなるんですけど、人知れず控えめに咲いているコスモスは地味だなあと思いました。つぼみもあったのでこれから世間に『私たちはコスモスよ』と堂々と胸を張る日も近いことでしょう。

コスモスは秋の花として有名です。語源はギリシャ語で『秩序・美麗・調和』などという意味で命名されたそうです。花の形が桜に似ているところから漢字で『秋桜』と書かれるようになりました。秋桜は秋風にゆれ動く、可憐で頼りなさそうな繊細さがある反面、とても芯が強く、風や雨で倒れてもすぐ立ち上がる花なんだそうです。とても魅力的な花。山口百恵さんの歌で大ヒットしたのはもう何年前のことなのでしょうか。

アルミサッシはキズを付けないで！

一般の過程でも窓や浴室等に多く使われているアルミサッシ。硫酸浴などの中でアルミを陽極として電流を流すと、アルミは酸化されて表面に陽極酸化被膜が出来ます。この上に透明塗装を行って複合被膜として耐食性を上げたのが『アルミサッシ』です。

この被膜が健全である限り耐食性の強い大気、アルカリ、梅干しなどによる腐食は大丈夫です。しかし、キズを付けてしまうとアルミの地が出てしまいます。アルミは酸にもアルカリにも強くありません。梅干し（ｐＨ約２）が触れていると腐食して穴があきます。またアルカリ性の強いコンクリートやモルタル（ｐＨ約12.5）、アルカリ石鹸にやられてしまいます。アルミサッシをキズ付けないことがいつまでも綺麗に使う秘訣なんですね。（資料の『とことんやさしい錆びの本』日刊工業新聞社）

ヨード液でうがいをしても効果がない？

十月二十九日付産経新聞に気になる記事が載っていました。うがいは水が一番効果があるという内容で、京都大保健管理センターの川村孝所長（教授、内科学）らの研究グループが発表した内容によると、ヨード液には明らかな予防効果は認められなかったという事です。日本独自の習慣とされる『うがい』の効果を検証したのは世界初だそうです。

研究は平成十四年十二月〜十五年三月、北海道から九州まで全国約三百八十人のボランティアを対象に実施。無作為で「なにもしない」「ヨード液でうがい」「水でうがい」の三グループに分け、一回以上風邪をひいた人数を調べたデータを一ヶ月間に百人のうち何人が風邪になったかに換算すると、なにもしなかった人で二十六人、ヨード液うがいで二十四人、水うがいでは十七人が風邪をひいたそうです。水でうがいをした人が最も少なく、なにもしなかった人に比べ約四割の風邪の発症抑制効果があったそうです。

水うがいの効果について研究グループでは、ウイルスを洗い出す作用のほか、水道水に微量に含まれる塩素の殺菌効果作用もあるのではとの事です。少しデータ量が少ないような気もしますが、これまでの概念がひっくり返った内容でした。

ステンレス豆知識

先月（１０月）号でステンレスの各成分の特性についてのを紹介させて頂きましたが、耐食性も含めたもっとわかりやすい表がありましたので、こちらの方がずっと参考になると思い、あえて掲載させて頂きました。け、決して手抜きではありませのでどうかご容赦を。。。

ステンレス鋼における合金元素の役割

元素	耐食性		機械的性質	
C	粒界腐食感受性が増大	×	強度が増大、磁性を低下	○＆×
Si	顕著に影響しない	△	顕著に影響しない	△
Mn	顕著に影響しない	△	強度が増大	△
P	耐食性を多少低下	△	顕著に影響しない	△
S	耐孔食性、耐酸化性が増大	×	腐食疲労強度を低下	×
Cr	耐食性、耐孔食性、耐酸化性が増大	◎	強度が増大	◎
Ni	全面腐食性が改善	○	延性、靭性が改善	○
Mo	耐孔食性が増大、Crの３倍増大	◎	強度が増大	○
Nb,Ti	粒界腐食感受性を減少、耐熱性を改善	◎	溶接性を改善	○
Cu	耐食性・耐酸化性を改善	○	加工性を改善、溶接性が低下	○＆×
Al	耐食性を改善	○	――――――――	△

◎：大きく改善する　○：改善する　△：ほとんど影響しない　×：悪化させる

参考資料：『事例で探すステンレス選び』工業調査会